

戦略目的A

暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている

重要業績評価指標（KPI）：社会増減の緩和（転入－転出）

基準値△313人（2014年度）⇒

目標値△281人（2019年度）

※毎年度＋32人

主要手段－具体的手段		重要業績評価指標（KPI）	担当課	基準値（2014年（度））	目標値（2019年（度））	H28事業（※主以外に関連する項目がある場合、〔再掲〕で記載）
手段A 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている（情報発信）	〇豊岡と移住に関する単語を組み合わせた語句の検索数 「豊岡 移住or就職orUターンorIターンor暮らしor仕事」 取り上げられた回数	大交流課	980件	1,800件	
01-01	様々なメディア等で豊岡が取り上げられている	〇豊岡に関する情報が、テレビ、雑誌、WEBマガジン等に取り上げられた回数	大交流課	45件	90件	〇豊岡エキシビション 〇メディア・旅行エージェント招聘事業（※）
01-02	WEBやSNS等で豊岡の情報が共有されている	〇Facebook「大好き豊岡応援隊」 いいね済数 〇豊岡市移住定住ポータルサイト 閲覧数	大交流課	2,839件 18,000件（2015年度）	4,894件 36,000件	〇移住定住促進プロモーション戦略事業（プロモーション戦略、ポータルサイト等作成） 〇ジョブナビ豊岡
01-03	豊岡の魅力を語る人々が世界中にいる	〇城崎国際アートセンター（KIAC）アーティスト・イン・レジデンス滞在者数（累積） 〇海外メディア（テレビ、雑誌、WEBマガジン等）掲載数	大交流課	501人 6件	1,366人 26件	〇芸術文化担当参与の設置 〇ディレクター等の配置（KIAC）〔再掲〕 〇外国人観光客プロモーション事業（海外情報発信拠点設置） 〇アーティスト・イン・レジデンス事業
01-04	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	〇市の指定するSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）登録率（登録者数／登録者世代の18歳時の人口）	大交流課	未着手	60%	〇成人式を起点とする情報発信 〇豊岡を語る会（仮称）
01-05	定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている	〇豊岡市移住定住ポータルサイト 閲覧数	大交流課	18,000件（2015年度）	36,000件	〇豊岡暮らしカフェ 〇ワンストップ窓口 〇トヨオカム塾 〇豊岡暮らし体験会 〇合同企業説明会、企業研究会 〇保護者向け就職活動勉強会 〇企業ガイドブック
手段A 02	人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化）	〇「豊かな暮らし」を楽しんでいる市民の割合	地方創生課	46.4%（2016年度）	55%	
02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている	〇基盤産業（靴産業と宿泊業）における若手従業員の新規雇用（正社員）数	エコバレー推進課 大交流課	未計測	基準値把握後に設定	〇革製靴・革小物生産能力育成 〇靴UIターン促進 〇コウノトリ育む農法無農薬栽培推進 〇コウノトリ育むお米ブランド化、海外販売推進 〇豊岡市企業立地促進条例による奨励金 〇企業立地事業者工場等賃借料補助金 〇環境経済事業販路拡大支援 〇IT企業立地支援制度
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	〇創業件数 〇認定新規就農者数（青年等就農計画の認定を受けた者）（累積）	エコバレー推進課 農林水産課	14件 1名	25件 18名	〇空き店舗等開業支援補助金 〇豊岡農業スクール 〇新規就農総合支援（青年就農給付金、若手農家支援、豊岡農業体験、親方農家発掘） 〇コワーキング豊岡整備（※） 〇豊岡稽古堂塾 〇靴縫製者トレーニングセンター（※） 〇地域プロデューサーの配置 〇Iターン者向けシェアハウス整備の推進
02-03	人とつながり、支え合う喜びを感じる人が増えている	〇「豊かな暮らし」を楽しんでいる市民の割合	地方創生課	46.4%（2016年度）	55%	〇地域コミュニティづくりの推進 〇地域マネージャーの養成 〇公民館整備、改修 〇図書館機能拡充事業
02-04	自然とのつながりを楽しむ人が増えている	〇「豊かな暮らし」を楽しんでいる市民の割合	地方創生課	46.4%（2016年度）	55%	〇加陽湿地拠点整備 〇コウノトリ野生復帰推進 〇子どもの野生復帰〔再掲〕
02-05	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている	〇「豊かな暮らし」を楽しんでいる市民の割合	地方創生	46.4%（2016年度）	55%	〇ディレクター等の配置（KIAC） 〇文化芸術振興計画策定 〇芸術文化情報発信（KIACレクチャーシリーズ [※] 、芸術文化情報放送） 〇出石永楽館歌舞伎 〇文化芸術創造交流事業（Toyooka Art Season） 〇文化芸術創造交流事業（市民参加の演劇、演劇ワークショップ）
02-06	外から豊岡とつながり、行き来する関係人口が増えている	〇城崎国際アートセンターの地域交流プログラム等自主事業への市外からの参加者数（累積） 〇但馬空港助成利用件数（市内出身者及びその家族、ビジネス利用） 〇城崎温泉駅乗客数（定期利用者以外）	大交流課 都市整備課	2,226人（2015年度） 2,039人 313,346人（2015年）	4,800人 5,000人 331,930人	〇城崎国際アートセンター自主事業
手段A 03	豊岡で人々が世界と出会っている（ローカル＆グローバル）	〇移輸出額（兵庫県市町民経済計算）	エコバレー推進課	215,427百万円（2013年度）	239,123百万円	
03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	〇外国人宿泊者数（人泊）	大交流課	15,231人泊	80,000人泊	〇豊岡DMO設立・運営事業 〇観光動態見える化事業（観光客移動調査） 〇インバウンド受入体制整備計画策定 〇外国人観光客プロモーション事業（外国人客向け無料Wi-Fiスポット整備、旅行博出展、WEB広告、WEB解析・サイト改善、着地型パンフレット作成） 〇外国人観光客動向分析事業 〇山陰海岸ジオパーク周遊キャンペーン事業（※） 〇夢但馬周遊バス運営事業（※） 〇京都丹後鉄道特急車両魅力アップ事業（※） 〇但馬空港利用促進事業 〇城崎温泉街交通環境改善事業
03-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	〇製造品出荷額のうち直接輸出額（工業統計） 〇海外におけるコウノトリ育むお米取り扱い店舗数	エコバレー推進課 農林水産課	未計測 0店	基準値把握後に設定 5店	〇コウノトリ育むお米海外販売推進〔再掲〕 〇アーティスト・イン・レジデンス事業〔再掲〕
03-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている					〇専門職大学の誘致
03-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	〇外国人宿泊客を受け入れている宿泊施設の数（Visit Kinosaki登録旅館数）	大交流課	0件	100件	〇豊岡DMO設立・運営事業〔再掲〕 〇インバウンド受入体制整備計画策定〔再掲〕
手段A 04	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）	〇地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることが ある児童・生徒の割合	こども教育課	小学生41.9%（2015年度） 中学生32.9%（2015年度）	小学生60%以上 中学生60%以上	
04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	〇地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童・生徒の割合	こども教育課	小学生62.5%（2015年度） 中学生56.3%（2015年度）	小学生70%以上 中学生70%以上	〇ふるさと教育推進事業（ローカル＆グローバル学習のガイドブック等作成、但東中学校MISSION IN TOKYO〔再掲〕） 〇子どもの野生復帰 〇おっとりっや！とよおかのものづくり（※）
04-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	〇地域の行事に参加している児童・生徒の割合	こども教育課	小学生92.1%（2015年度） 中学生67.2%（2015年度）	小学生96%以上 中学生75%以上	〇ふるさと教育推進事業（但東中学校MISSION IN TOKYO）
04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる	〇中学校卒業時の英語検定3級以上の合格者数	こども教育課	23.0%（2015年度）	50.00%	〇英語教育推進事業（小中一貫教育） 〇コミュニケーション教育推進事業（小中一貫教育） 〇芸術文化情報発信事業（子どもたちと外国人とのコミュニケーション推進、学校へのアーティスト特別派遣） 〇英語遊び保育推進事業
04-04	子どもたちの想像の翼、行動の翼が世界に羽ばたいっている	〇国際交流事業等で海外に派遣した子供の数（累積） 〇子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭訪問学校数（累積）	こども教育課 生涯学習課 文化振興課	30人 3校	165人 41校	〇大韓民国・アメリカ・モンゴルとの交流 〇子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催事業（※）

（※）は市以外の団体の主催事業

戦略目的	多くの子どもでにぎやかな家庭を持つ若者が増えている 重要業績評価指標（KPI）：出生数 基準値595人（2014年）⇒ 目標値650人以上（2019年）、合計特殊出生率 基準値1.82人（2008～2012年平均値）⇒ 目標値1.92人（2019年）					
	主要手段－具体的手段	重要業績評価指標（KPI）	担当課	基準値（2014年（度））	目標値（2019年（度））	H28事業（※関連する項目がある場合、〔再掲〕で記載）
手段B 01	若い夫婦の数が増えている	○婚姻数	ハートリーフ 戦略室	303組	278組※	※2019年予測値241組をもとに設定。
01-01	多種多様な出会いの機会が充実している	○出会い交流イベント参加者数（市全体）	ハートリーフ 戦略室	288人	576人	○ 結婚促進支援事業（婚活イベント開催、民間団体等婚活事業助成） ○ 出会い機会創出事業（企業間等婚活イベント支援、ラジオ局婚活イベント誘致）
01-02	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	○サポート企業登録社数	ハートリーフ 戦略室	85社	125社	○ 結婚促進事業推進体制整備事業 ○ 結婚促進支援事業（婚活セミナー開催）
		○結婚相談所登録者数	ハートリーフ 戦略室	56人	100人	
		○男性スキルアップセミナー実施回数	ハートリーフ 戦略室	0回	3回	
01-03	若者が集い、交流する場が増えている	○若者主体のスポーツ・文化サークル数	スポーツ振興課・コミュニティ政策課	未計測	基準値把握後に設定	
手段B 02	夫婦一組あたりの子どもの数が増えている	○児童手当世帯当たりの児童数 （中学生以下／公務員を除く児童手当受給者）	市民課	1.75人	1.85人	
02-01	出産への応援がある	○出産適齢期（20歳から34歳を想定）の方の 特定不妊治療費助成制度利用者数	健康増進課	14人	20人	○母子保健事業 （特定不妊治療費助成・不育症治療費助成）
02-02	育児への応援がある	○送迎や預かりなど子育ての相互援助をする人数	こども育成課	0人	150人	○ ファミリー・サポート・センター事業
		○送迎や預かりなどの支援を受けている人数	こども育成課	0人	75人	
02-03	仕事の両立への応援がある	○保育所の特機児童数	こども育成課	25人	0人	○ ファミリー・サポート・センター事業〔再掲〕
		○放課後児童クラブの特機児童数	こども育成課	55人	0人	
02-04	パートナーの応援（理解と協働）がある	○パパの子育てセンター利用者数	子ども育成課	未計測	基準値把握後に設定	
02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある	○地域の方々を講師に活動する「土曜チャレンジ学習事業」 実施小学校区数	子ども教育課	10小学校区	全29小学校区	○こども支援センター機能拡充事業